

ボリビア国住宅分野における開発ニーズ(課題)

- ・屋根材として普及している素焼き瓦は重く割れやすく、落下して危険
 - ・スレート瓦は有害なアスベストを含むものが多い
 - ・金属のトタン屋根は赤く錆びやすく強風雨に弱い
- これらの状況から、防災、安全、健康面の課題が多い

提案製品・技術

- ・フッ素樹脂を付したガルバリウム製の高耐久な金属屋根(マックス瓦)を利用することで、災害に強く、安全安心で、健康な住宅屋根を提供
- ・安全な屋根施工技術の普及により屋根技術者の労働安全を確保

本事業の内容

- ・ 契約期間: 2022年4月～2023年6月
- ・ 対象国・地域: ボリビア国サンタクルス市
- ・ 案件概要: 自然災害に強く省エネにも資する高耐久な金属屋根を利用することで、人々の住生活環境の改善を図る案件化調査。本事業を通じ、マックス瓦など金属屋根製品のビジネス展開を図り、ひいてはボリビア国が目標とする防災の視点を取り込み貧困層も包摂する「尊厳ある生活(VIVIR BIEN)」への貢献を目指す。

マックス瓦



開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・現地パートナー企業と提携し、マックス瓦等を輸入販売するとともに、施工についても技術支援
- ・屋根市場における弊社製品の優位性が確認されれば、現地生産のため工場設立及び責任施工体制を整備する予定
- ・長期的にはサンタクルスを拠点として、メルコスースなど周辺国も市場とすることを検討

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・現社会労働党政権が目指す防災の視点を取り込み貧困層も包摂する「尊厳ある生活(VIVIR BIEN)」への貢献
- ・屋根市場の発展拡大とユーザー選択肢の多様化
- ・屋根施工時の安全管理による労働災害の低減
- ・技術者・職人の育成と雇用機会の拡大